

# わっしょい！鼓南

地域情報誌  
第183号  
令和6年7月1日発行

題字：書道家 石村 周寛さん

【編集・発行】  
大島市民センター TEL:0834-84-0310 FAX:0834-84-0174  
給島市民センター TEL:0834-84-0312 FAX:0834-84-0424  
※ この市民センターだよりの全部または一部を、無断で複製・転載・改変・配布することはしないでください。

バックナンバーはWebで！

鼓南地区コミュニティ 検索

または右のコードからどうぞ。



## 貴船神社夏祭りが開催されます

【日時】7月28日(日) 伝馬船出発11:00 / 子供神輿出発11:30 / 御神輿出発12:30 / 松前音頭14:00

【場所】貴船神社周辺。当日、**給島は交通規制される時間帯**があります。

- 住民・祭り関係者を除き、**給島入口周辺より先は、一般車両は進入・駐車ができません。**
- **給島発着の防長バスは給島入口周辺に設ける臨時バス停止まり**となります。

【問合せ】給島市民センター ☎0834-84-0312(平日8:30~17:15)



## 主事のき 給島の「モニュメント」について



味わい深い形

大島市民センター主事の北村です。不定期になりますが、地域内で気づいた内容を、お話ししたいと思います。

今回は、給島に向かって小瀬戸橋を渡るたび目にする、「モニュメント」に興味があつて調べてみました。

晴天時、美しいスカイブルーの青空と海に映える構造物は、「ふくのモニュメント」です。私は一目では「ふく」だと分かりませんでした。逆にそれが興味を引きました。

「ふく延縄漁」発祥の地である給島をPRする一つとして、鼓南地区コミュニティ推進協議会が平成2年に設置されたと知り、漁法を開発した先人の知恵と普及、後の世代に伝えてきた方々に、尊敬の念を持ちました。

近年、同じ場所に「ふく魚介類供養塔」が移転され、昨年は供養祭が営まれるなど、市も地域も一緒になって発祥の地を大切にしています。

私も、率先して地域の貴重な資源をPRしていきたいと気持ちを新たにしています。

鼓南地区内の面白い話題や情報がありましたら、ぜひお聞かせください。



## 地域団体の紹介「鼓南なんでもやろう会」

鼓南なんでもやろう会は、「元気に」、「楽しく」、「無理なく」をモットーに、自然と共生する住みよい地域づくりを目指して、平成12年から活動されています。

竹林整備(伐採、炭焼きなど)、ボカシ肥料作りを行い、各種の製品を販売しているほか、太華山登山道整備の受託や、鼓南小・中学校のコミュニティ・スクールへの協力など、地域で活躍をされています。

定例の活動は、毎月1回、第2土曜日の午前中にされています。

会員を募集されており、誰でもお気軽に参加が可能です。興味がある方は、下記へご連絡ください。

【問合せ】鼓南なんでもやろう会事務局 吉岡さん 090-7646-2973



### 芋の苗植え(コミュニティ・スクール活動)

6月6日(木)、鼓南中学校の生徒と一緒に、芋の苗植えを行いました。

生徒に焼き芋に適した芋の植え方を伝え、植え付けから敷きワラまでを協力して作業に取り組み、楽しい時間を過ごしました。

収穫は10月末頃を見込み、地域のイベントが開催される際は、出店を予定しています。豊作になるよう、大いに期待しています。

# 特集 熱中症から身を守りましょう

2次元コードをスマホで読み取ると関連ページをご覧いただけます。

梅雨明け前後は気温・湿度共に高くなりますが、体が暑さに慣れていないため、熱中症の危険性が高まります。次のポイントを押さえて、自分の身体と行動、身の回りの環境を見直し、熱中症を予防しましょう。

## 「暑さ指数」をチェックしましょう！

次の指標(内容)で、熱中症の危険度が確認できます。環境省が発表する「暑さ指数」に注目しましょう。

暑さ指数の4つの指標

気温 湿度 輻射熱※ 風

※ 輻射熱(ふくしゃねつ)とは、物と物が触れていなくても伝わる熱(例:日差しの温かさ、アスファルトからの熱気など)

## 熱中症予防サイトで確認できます

暑さ指数が28を超えると、熱中症患者が著しく増加するため、厳重な警戒が必要です。

暑さ指数33以上の場合、「熱中症警戒アラート」が都道府県単位で発表されます。

ただし、このアラートは県内全ての観測地点で33以上と予測される場合のみ発表されます。

インターネットを利用される方は、発表を待たず、随時、「熱中症予防サイト」を確認しましょう。



熱中症予防サイト  
(環境省)

## 体を暑さに慣らしましょう

人は汗をかくことで体温を調節し、暑さに慣れると効果的に熱を放散できるようになり、熱中症になりにくくなります。

ウォーキングやストレッチなど軽い運動や入浴などで汗をかき、数日~2週間をかけて徐々に体を暑さに慣らすことが大切です。



- ※ 水分・塩分を補給しつつ、無理をせず取り組む。
- ※ 一度慣れても、暑さから数日間遠ざかると効果がなくなるので、注意が必要です。

暑さ指数	左記指数の際、注意が必要な活動の例
<b>危険</b> 31以上	安静にしても、 <b>リスクあり</b> 35以上「熱中症特別警戒アラート」 33以上「熱中症警戒アラート」
<b>厳重警戒</b> 28以上 31未滿	軽い活動：会話・食事・買い物・徒歩・自動車の運転・バスや電車に乗る・ヨガ
<b>警戒</b> 25以上 28未滿	中程度の活動：速足・階段(ゆっくり)・自転車に乗る・トラクターの運転・ゴルフ・ラジオ体操・卓球・草むしり・農作物の収穫
<b>注意</b> 21以上 24未滿	強い活動：走る・登山・水泳・草刈り・のこぎりやハンマーを使用する作業
20未滿	重い荷物の運搬・マラソン・シャベルや斧などを使用する激しい作業

- ※ 単位は「℃」。気温と取り違えないよう数字のみで表しています。
- ※ 「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4(日本生気象学会)」、「生活活動のメッツ表(厚生労働省)」により作表しています。

## 熱中症の症状が出たときには？

大量の発汗、めまい、手足のしびれ、頭痛、嘔吐、ろれつが回らない、熱いのに汗が止まるなど、症状は様々です。

①呼びかけに応答があるか ②自力で水分補給ができるか ③応急処置で改善したか、確認しましょう。

<b>応急処置</b>	涼しい場所で、服をゆるめ、体を冷やす。		水分・塩分を補給する。	
	➢ 首、脇の下、太ももの付け根が効果的。 ➢ 保冷剤や氷、濡れタオルを使う。		➢ 呼びかけに反応が悪いときや吐いたときは、無理に飲ませず、すみやかに病院を受診させる。	

<b>相談</b>	「救急車を呼ぶ」か「病院に行く」か迷ったときは「#7119」(山口県救急安心センター)
	➢ 毎日24時間、利用できなければ083-921-7119。15歳未滿は「#8000」(19時~翌朝8時)。通話料が必要。

## 7月 鼓南地区行事予定

※天候不順その他の事情により、中止や変更となる場合があります。

- 7/8 (月) 給島いきいきサロン
- 7/9 (火) 給島認知症予防カフェ
- 7/10 (水) やまびこ号巡回(給島漁港→鼓南小→大島自治会館)
- 7/14 (日) 大島認知症予防カフェ
- 7/17 (水) 大島きらきらサロン
- 7/21 (日) クリーン鼓南
- 7/26 (金) やまびこ号巡回(給島漁港→鼓南小→大島自治会館)



鼓南地区の人口 男性:374人 女性:460人 合計:834人 【令和6(2024)年5月末現在】